

## 2009年広島県母親大会アピール

呉市は、海と山に囲まれた温暖で住みよい町です。しかし、戦前は、東洋一の軍港といわれ、戦艦「大和」など多くの艦船・兵器が造られたことで有名です。また、5回もの空爆を受けて町は焼け野原となりました。戦後、軍港は自衛隊基地に変わり、米軍基地も存在する町になりました。自衛隊基地は年々増強され、公道から潜水艦や護衛艦が見える全国的にも珍しい町です。

私たちは、今日、ここ呉の地で2009年広島県母親大会を開き、お互いの活動を交流し、情報を交換し、多くのことを学びました。

「お金がなくて修学旅行をあきらめた」「学費が払えないから退学した」、学校で学ぶ子どもは、お金の心配もしなくてはなりません。「年金だけでは生活できない」「後期高齢者問題も介護も、年寄り早く死ねと言われていたようだ」、生存権が脅かされ、人間の尊厳がおかされています。

しかし、いとも簡単に首が切られワーキングプアがあふれる社会で、若者も女性たちも明日への希望をかけて闘っています。深刻化するケータイの問題では、今年の母親大会をきっかけに「考える会」が結成され、活動を続けています。非行に苦しみ悩む親や子どもたちが、非行をむしろ人生の糧とする考え方で、励ましあい交流しています。

地球の温暖化問題では、市民の役割と企業の責任を明確にして活動を広げる大切さが話し合わせ、日ごろの努力に確信を得ました。

特別講座では、1300年前の万葉集の時代と人々の思い・願いをじっくり学んで共感し、裁判員制度では、司法への国民参加をより実りあるものにするための努力と課題を学びました。おじいちゃん、おばあちゃんから孫まで参加した「出し巻き卵」では、昼食に舌鼓を打ちました。

8月30日に行われた総選挙では、貧困と格差拡大、弱い者いじめの自公政権に対する国民の不満と怒りが爆発しました。新しい政権の発足へと日本の政治が大きく動き出しています。オバマ大統領は、核兵器を使用した唯一の国として行動する同義的責任があると声明し、核兵器廃絶を国家目標にすると約束しました。1年間に140兆円にものぼる世界の軍事費は大胆に削って、人々の幸せのためにこそ使わせなくてはなりません。見学分科会では、その思いをしっかりと刻みました。

憲法が輝く日本をつくるために、だまされない知恵と生き方を身に付け、草の根からの運動をさらに大きくひろげましょう。平和・安心・安全な明るい未来を子どもたちに手渡すために、母親運動を大きく前進させていきましょう。2年後広島で開催予定の日本母親大会を成功させるために、さっそく準備に取りかかりましょう。

生命を守る母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます

2009年9月6日

2009年広島県母親大会